

「ガストリン」 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたので、ご利用いただきたくご案内致します。

謹白

記

新規受託項目内容一覧

項目 コード	検査項目名	検体量	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	備考
4090	ガストリン	血清 0.7 mL	01 ↓ 02	凍結 (21日)	6～12日	未収載	RIA PEG法	60以下(pmol/L) (参考値)	空腹時に採血してください。 採血後、冷蔵にて 血液の凝固を確認 し、速やかに低温 (4℃)にて遠心分 離してください。 血清は必ず4時間 以内に凍結保存 してください。

受託開始日

- 令和5年1月10日(火)

●ガストリン

ガストリン産生腫瘍の診断補助に有用な検査です。

ガストリンは、胃幽門粘膜および十二指腸粘膜に存在するG細胞で産生される分子量2,096の直鎖ペプチドで、17個のアミノ酸から構成される消化管ホルモンです。主に腎臓で代謝され尿中にはほとんど排泄されませんが、生理活性のないN端部分ペプチドは、腎臓で代謝されず尿中に排泄されます。

血中ガストリン濃度は、胃酸分泌機能の背景因子を調べる検査の一つであり、胃酸分泌機能の測定と併せて行われます。特に、Zollinger-Ellison症候群(ガストリノーマ)を代表とするガストリン産生腫瘍をはじめとする種々の疾患で高値を示し、消化器異常の鑑別や病態の把握にも用いられます。

▼疾患との関連

ガストリノーマ
Zollinger-Ellison症候群

▼検査要項

項 目 コ ー ド	4090
検 査 項 目 名	ガストリン
検 体 量	血清 0.7mL [容器番号:01番→02番]
保 存 方 法	必ず凍結保存してください
検 査 方 法	RIA PEG法
基 準 値	60以下(pmol/L) (参考値)*
所 要 日 数	6～12日
検 査 実 施 料	未収載
判 断 料	未収載
報告範囲(単位)	15未満、15～999000000(pmol/L)
桁 数	有効3桁、整数8桁、小数0桁
備 考	空腹時に採血してください。 採血後、冷蔵にて血液の凝固を確認し、速やかに低温(4℃)にて遠心分離してください。血清は必ず4時間以内に凍結保存してください。
委 託 先	株式会社エスアールエル 八王子ラボラトリー

* 参考値につき、報告書への記載はありません。

●研究検査

当社の通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

●参考文献

河本 泉, 他: 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 33(2):97～100, 2016. (臨床的意義参考文献)